

# 「大相撲宮古島場所」開催へ

## 12月20、21日市総合体育館

### 幕内全力士40人が対戦

#### 市役所で調印式

日本相撲協会による宮古島での地方巡業「大相撲宮古島場所」が今年12月20、21日に市総合体育館で開催されることとなり、開催に向けての調印式が12日、市役所平良庁舎で行われた。日本相撲協会と巡業主権者に当たる「勸進元」、大相撲宮古島場所実行委員会の3者が調印し、長濱政治副市長が見届け役を務めた。



調印を終え記念撮影をする(前列左から)藤澤代表、長濱副市長、千田川親方と同場所実行委員、関係者たち(後列)＝12日、市役所平良庁舎

2008年12月以来8年ぶりの開催なる今回の宮古島場所には幕内の全力士約40人を含む総勢約1300人の関係者が来島する。開催時間は12月20、21日の両日も午後3時から同9時まで、トーナメント戦で優勝者を決める。宮古角力の力士や市内各地域の代表選手と関取が対戦するコーナーも設けられるほか、幕入り土俵入りの際に力士が宮古島の赤ん坊を抱いて入場したり、取り組み終了後に土俵を囲んでエイサーを踊るなどの企画も計画されているという。

調印式には日本相撲協会巡業部の千田川順親方、勸進元のアートアベニュー(本社・東京)の藤澤雅義

代表、大相撲宮古島場所実行委員会(栗田将一郎委員長)の下地盛智副委員長が出席し、契約書に調印した。長濱副市長は調印締結を喜ぶとともに「宮古島の大相撲ファンに本物の相撲を見せてほしい」と宮古島場所開催に期待を示した。藤澤代表は「宮古島らしい、

楽しい場所にした」、千田川親方は「今年の巡業の締めくくりが宮古島場所になる。関取たちも宮古島に来るのを楽しみにしている」とそれぞれ語った。同場所入場チケットの発売は9月中旬ごろを予定している。